

災害に
備えて

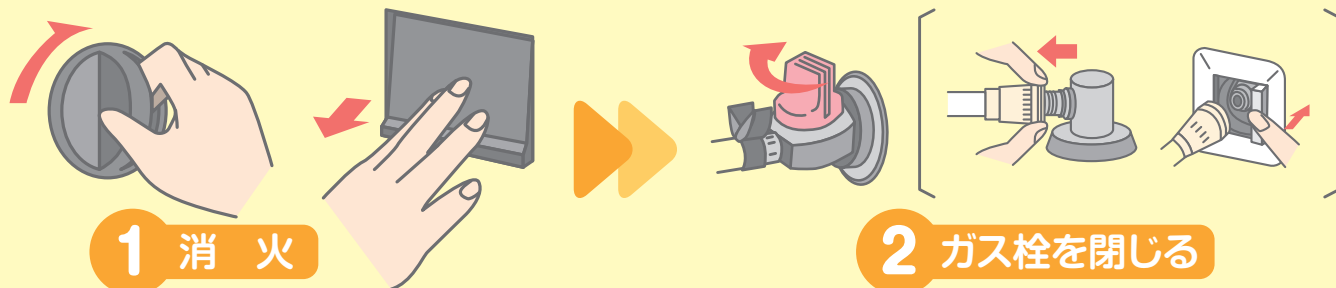
「ガス器具」「ガス供給器」 の憶えていてほしいこと!

保存版



地震・火災など緊急の場合

ただちに**使用を停止し、ガス栓を閉じてください。**
(つまみのないガス栓の場合はガス栓から接続具をはずす。)

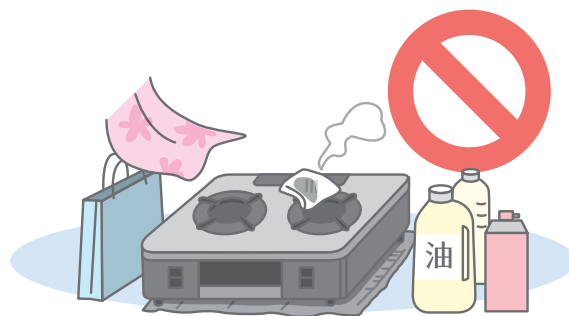


普段から気をつけて

■コンロの上や周囲には可燃物や 引火物を置かない、近づけない。

ペットボトル、調理油などは火災の原因になります。また、スプレー缶やカセットコンロ用のボンベなどは、熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発する恐れがあります。

- 機器の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物を敷かないでください。また電源コードを通さないでください。



地震が収まったら

地震である程度以上の揺れがあると、マイコンメーターが働いて自動的にガスがしや断されます。地震後もお住まいの地域へのガス供給が行われている場合には、ご自身で復帰操作をするとガスが使えるようになります。

※ガス臭いときは復帰操作は行わず、窓や扉を開放し、ガス事業者にご連絡ください。

① まず、すべてのガス機器を止めます。

器具の栓を閉じるか、運転スイッチを切ります。
屋外に設置された給湯器なども忘れないようにします。ガス栓も閉めます。

② マイコンメーターの[復帰ボタン]のキャップを左に回してはずします。

※キャップのない場合もあります。

③ [復帰ボタン]を押します。

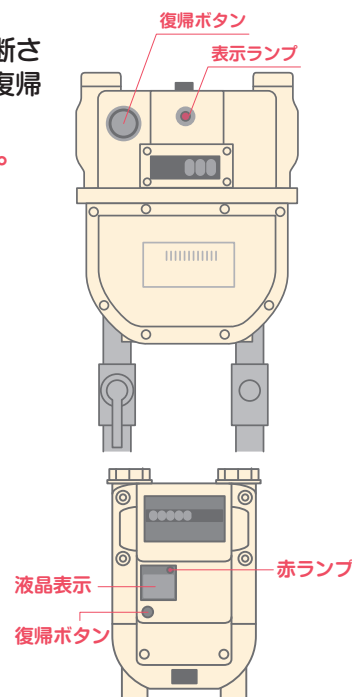
止まるまでしっかり押し、表示ランプ（赤）が点灯したら、すぐに手を離します。
キャップを元通りに取り付けます。

④ そのまましばらくお待ちください。ガス漏れの有無を確認中です。

3分たったら、もう一度マイコンメーターをご確認ください。
赤ランプの点滅が消えていたら、ガスが使えます。

- ※ マイコンメーターのガスもれ確認は、メーターからガス機器までの範囲で行います。
- ※ 3分経過後もガスが止まったままで赤ランプが点滅している場合は、ガス機器の止め忘れやガス漏れが考えられますので、もう一度ガス栓の閉め忘れやガス機器の止め忘れがないか確認してください。

正常に復帰しない場合や、不明な点がある場合は地域のガス事業者にご連絡ください。



※機種により形状が異なる場合があります。

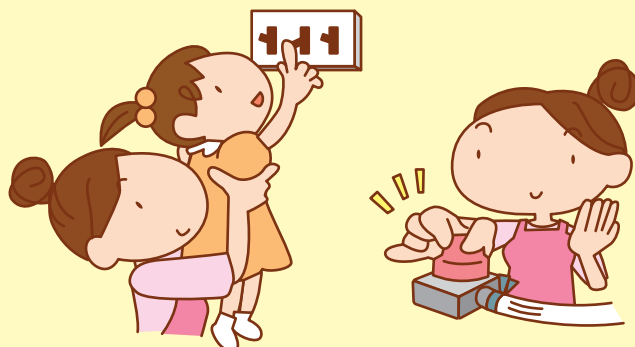
出典：日本ガス協会HP



災害などで停電しているときは

停電時、避難する時には
**電気ブレーカーを切り、
ガスの元栓を締め**ましょう。

電源が復帰したときに
火事になる場合があります。



出典：消防庁HP

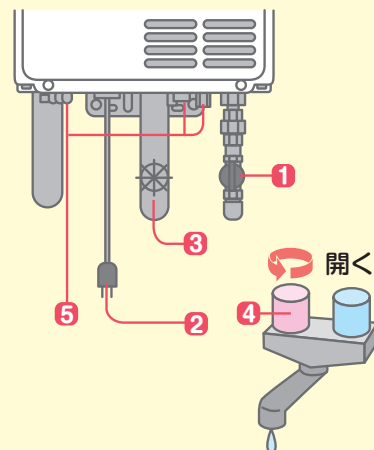
■停電時のガス給湯器の凍結について

給湯器など温水機器について、気温がマイナスになる可能性がある場合は
停電時に凍結防止装置が働かないため給湯器の水抜きをして凍結防止をする必要があります。

機器内の水を抜く方法 ※給湯専用器の場合

リモコンがある場合は、リモコンを「切」にしておいてください。

- ① ガス栓をしめます。
- ② 電源プラグを抜きます。
- ③ 給水元栓を閉めます。
(不凍栓使用時は不凍栓を閉め、給水元栓を全開にします。)
- ④ 全ての給水栓を開けます。
- ⑤ 水抜き栓をはずします。
再使用するまでこのままにしておきます。



※水抜き方法は給湯器の種類によって異なります。取扱説明書に記載の“凍結を防ぐには”を参照いただき対応をお願いします。

■停電時のガス機器使用時の換気について

停電時は換気扇が作動しない場合や、夜間等暗い場所ではガス機器がよく見えずに操作を誤る場合があります。やむを得ずご使用になられる場合は換気の確保などに十分にご注意ください。
特に、小型湯沸器、暖房機器ならびに業務用機器をご使用の場合は換気にご注意ください。

■その他ガス機器についての注意点

タイマーや時刻表示のあるガス器具については停電解除後に時間を再設定する必要があります。給湯器などの設定温度が基本設定に戻る場合があります。お湯をご利用になる場合は必ず設定温度と出湯温度の確認を実施願います。

